

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/03/16

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.64	0.04
JPY/THB	0.2594	0.0018
USD/JPY	133.42	-0.80
EUR/THB	36.64	-0.49
EUR/USD	1.0577	-0.0156
USD/CNH	6.893	0.013
SGD/THB	25.61	-0.10
AUD/THB	22.91	-0.20
USD/INR	82.60	0.11
USD Index	104.65	1.05

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.013	-0.014
10Y (THB)	2.423	-0.005
5Y (USD)	3.551	-0.302
10Y (USD)	3.455	-0.234

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,931.3	20.4
WTI (Oil)	67.61	-3.72
Copper	8,504.5	-329.0

Stock

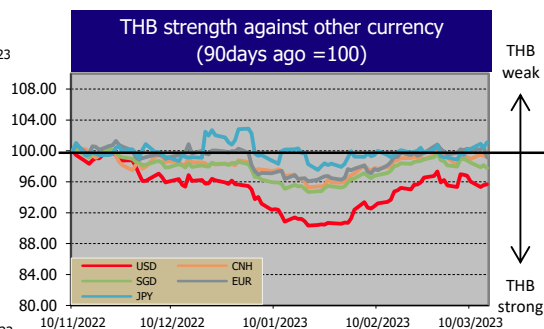
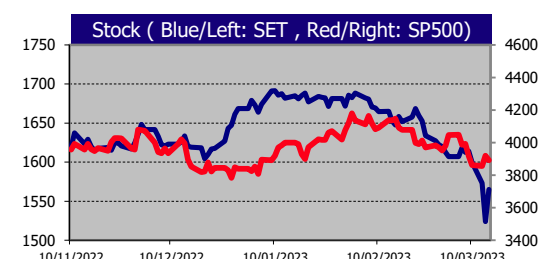
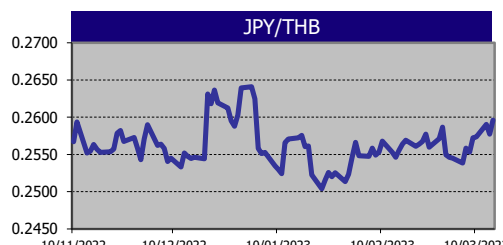
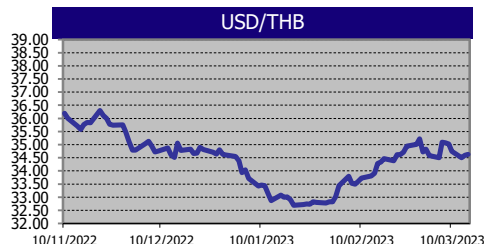
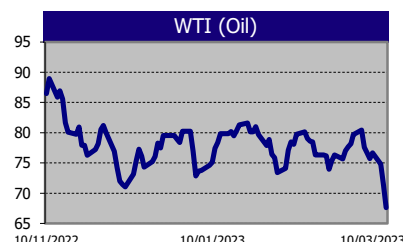
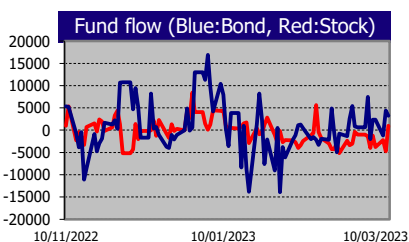
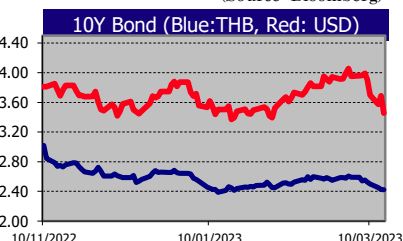
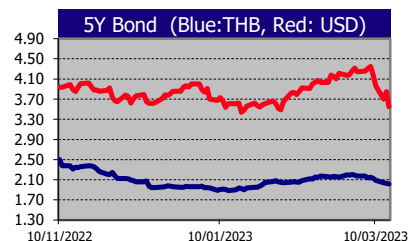
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,565.00	41.11
NIKKEI (JP)	27,229.48	7.44
DOW (US)	31,874.57	-280.83
S&P500 (US)	3,891.93	-27.36
SHCOMP (CN)	3,263.32	18.00
DAX(GER)	14,735.26	-497.57

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	961	5687.9
Bond net flow	3,258	-1142.7

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツはわずかに上昇。34パーツ台半ばでオープン。前日の米2月CPIの影響はほぼなく、一旦はFOMC前のイベントを消化したため、オンショア市場は小幅な動きとなった。海外時間、スイス大手銀行への経営不安が強まっていることから欧州の株安に端を発するリスクオフの動きが強まり、ドルパーツは34パーツ台後半へと上昇するも、米金利が大幅に低下したため、34.64で引けた。

●ドル円その他

昨日のドル円は下落。134円台半ばで取引を開始。前日に米金融株が上昇したことを好感して日経平均がしっかりと寄り付いたため、仲値にかけて上昇。仲値通過後は上げ幅を縮めたが、米金利上昇を受けて一時135円台を示した。しかし、海外時間ではスイス金融大手のクレディ・スイスの経営不安が高まり、米経済指標が予想に届かなかったことも重なって米金利が急低下。ドル円は132円台半ばまで急落した後、クレディ・スイスの問題についてスイスで議論されているとのヘッドラインにより133.42まで戻して終えた。

Bangkok Dealer's Eye

シリコンバレーバンクの破綻による不安心理は一部欧州金融機関の経営不安に飛び火し、市場の混乱に拍車がかかっています。もっともスイス金融当局が指摘している様に、シリコンバレーバンクの破綻が当該金融機関に飛び火する直接的な理由はなく、いわば疑心暗鬼にかられた市場心理が悪材料を探し回っている状態かと思えます。背景には世界的に急速に引き上げられた政策金利が、そろそろ実体経済にひずみをもたらすのではないかという思惑があり、自ずと政策金利動向、特に米政策金利動向に注目が集まります。

シリコンバレーバンクの破綻がなければ50bp利上げの可能性が高かった次回FOMC(3/22深夜結果発表)ですが、さすがにこの状況で50bp利上げに踏み切るとは考えづらく、利上げを一旦停止するか、利上げするにしても25bpに留まるものと考えます。株価の急落と共に米インフレ連動債が示す期待インフレ率は急速に低下していることから、次々回FOMCでの利上げ再開を示唆しつつも一旦利上げを停止する可能性は十分あると思います。

USD/THB為替は、金利差縮小の観点からはTHB買いですが、現状の様なリスクオフ相場ではTHB売りとなるため、上下動きづらい展開を予想します。(池澤)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.